



広報

あぐね

第417号

住民基本台帳人口と世帯数	
(10月1日 現在)	
人口	30,283 (+27)
男	14,139 (+25)
女	16,144 (+2)
世帯数	9,580 (+7)
()	内は前月比

昭和56年10月10日

鹿児島県阿久根市役所編集発行

やったぜ 海男の心意気

ウインドサーフィン
ヨット
で

甌島〜阿久根間40キロを横断

◇……外洋での走破はとてむずかしいといわれるウインド……◇

◇……トサーフィンで、本市の若者たち十四人が九月六日……◇

◇……甌島〜阿久根間の横断に挑戦、荒海を乗り越え、サー……◇

◇……フィン「セラム」ヨット四隻が見ごと横断に成功、海男の……◇

◇……心意気を見せました。(十ページに特集記事)……◇



ただ一人ウインドサーフィンで横断に成功した伊藤君

10月号

第3回定例市議会

協本公民館用地等、人費など追加

一般会計二億四百四十二万円を補正

第三回定例市議会は、九月十八日から二十八日までの十一日間の会期で開かれ、認定一件が継続審査になったほかは、同意一件、承認一件、議案九件が原案どおり可決されました。

このなかで、一般会計に二億四百四十二万四千円を追加し、一般会計予算の総額を七十四億八千二百一十一万円としました。

業分損金徴収条例の一部改正、保健センター、働く婦人の家の建設工事について請負契約締結のため議会の議決を求めたものなど議案六件と食肉センター特別会計補正予算、水道事業会計補正予算と、一般会計の補正予算が原案通り可決されました。

同意一件は、教育委員会の委員の任期満了に伴う教育委員に野多行成氏（一七二）を再任することに同意したものです。

承認一件は、衛生費の保健センター建設費を労働費の働く婦人の家建設費に組み替えた一般会計補正予算の承認でした。

議案九件は、協本漁港物揚場建設に伴う、公有水面埋立てに関し議会の議決を求めたもの、消防団員等の公務災害補償条例の一部を改正する議案、これは、消防団員等が公務もしくは従事するときの死亡、負傷等の補償条例を改正したもので、非常勤消防団員の補償基礎額を別表のとおり改正したものです。

また、市民が暴風や豪雨など自

然災害によって死亡したときの災害弔慰金の額を、これまでの一人「二百万円」を「三百万円」に引上げるものや、災害援護資金の貸付限度額の改正などのほか、防災会議条例の条文整備、土地改良事

業分損金徴収条例の一部改正、保健センター、働く婦人の家の建設工事について請負契約締結のため議会の議決を求めたものなど議案六件と食肉センター特別会計補正予算、水道事業会計補正予算と、一般会計の補正予算が原案通り可決されました。



協本公民館建設予定地のあたご橋付近

別表 補償基礎額表 () は現行

階級	勤務年数		
	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
市長及び副市長	8,000円 (7,670)	8,650円 (8,280)	9,300円 (8,900)
副市長及び副分団長	6,700円 (6,440)	7,350円 (7,050)	8,000円 (7,670)
部長、副部長及び分団長	5,400円 (5,200)	6,050円 (5,820)	6,700円 (6,440)

民医療費不足分などを補正しました。また、災害見舞金の限度額の引上げに伴う不足分も追加しました。

労働費関係では、失業者就労事業就労者自立引退特別助成金として二千六百六十七万円を計上。このほかオーパレイなど原材料費として二百四十八万円を補正し、道路整備を進めます。

里道整備・教職員住宅建設費も追加

農林水産費では、えんどう、さらまめの防風、寒害の対策として七十五万円を補助します。飛松線など県単土地改良工事費として

千四百七十一万円。桐野地区ほ場の補完工事費として排水工事費などを四百九十九万円。県単田代、米次線の作業道整備事業にも補助します。このほか市民いこいの森整備工事費として五百九十四万円を追加し、レクリエーション地として整備します。

土木費では、里道整備補助金として三百七十一万円を追加、海岸線など四線を改良します。南里之浜急傾斜地工事費負担金として百八十三万円も追加しました。

教育費関係では、単人地区教員住宅建設費として六百六十万円を予算化し教員の住宅難の解消に努めます。協本に建設予定の協本公民館用地購入費として八千七百五十二万円を補正。また同地区の運動広場建設工事費など九百八十万円を計上し、協本地区の振興を図ります。

食肉センター特別会計補正予算は、浄化槽の手すり塗装工事費など百十六万円で、予算総額を、億一千二百一十二万七千円としました。

このほか、水道会計の補正予算の追加が主なものでした。



昭和57年全体総合運動大会は、本市が中心となって成功させよう。国高等大会は、大会を成功させよう。

備を整を森のこの市民

二カ年でレクリエーション地に

56年度 展望休憩所・駐車場など建設

昭和四十八年二月、市制二十周年記念事業の一つとしてオープンした市民いこいの森は、市街地から十キロ離れた鶴川内高松タムの背景にあり、手ごろな場所が自然に親しめるとあつて家族づれ、学



遊歩道も整備されレクリエーション地として開発される「市民いこいの森」

校の遠足、青少年団体の登山にと数多くの市民が訪れています。

いこいの森は、市・県の造林地や学校林、鶴川内里生産森林組合林など二百二十三畝（総合グラウンドの四十六倍の広さ）の広大さで、入口から鷹首山までは延長二千二百メートルの遊歩道が設置され、入口には十メートルの広さに三百本のツツジが植樹してあり、遊歩道沿いにはくぬぎの森、大石群、興味をそそる奇岩など自然を楽しむには絶好の場所です。また、尾根のうえからは、東シナ海、紫尾連山、阿久根市街地が一望に見渡せます。

市では、このいこいの森をさらに充実したレクリエーション地にするために、本年度から森林総合利用促進事業を取り入れ、五十七年までの二カ年間にこの付近一帯を整備することにしました。

計画によると、本年度は、現在の遊歩道の整備、入口に駐車場の建設、展望休憩所の建設、遊歩道周辺へのツツジ植樹、林道白木川線の舗装などを行うことにし、すでに遊歩道の整備は、この七月から総工事費六百八十万円で工事に

着手しており、現在の歩道を二層に拡幅し、部分的にコンクリート舗装を取り入れ、危険なカーブは疑木で階段に改良してあり、この十一月には完成の予定です。

二年目の五十七年度の計画としては、管理施設の建設、駐車場の設置、林道舗装など予定されています。

「ぼくらの学校にもプールが」

山下小でプール開き



初泳ぎを楽しむ子どもたち

にスポーツにがんばり、たくましい子供に成長して欲しい」とあいさつ。六年生の池ノ原浩幸君が「願っていたプールができ、うれしくてたまりません。たいせつに使います。」と喜びを述べました。山下小学校での水泳は、これまで三ヶ離れた鶴川内小学校を借りて行

「学校にプールができたぞ」夏休み明けの九月三日、市内山下小学校にプールが完成、川畑市長地元民ら多数が出席して落成式が行われ、子供たちは持ち帰ったプールで思い切り泳ぎ初めをし完成を喜びました。

式典では、川畑市長が「新しいプールを活用して体を鍛え、勉強

B & G 海洋センター着工 体育館・プール・艇庫来年完成へ

B & G財団（ブルーシー・アンド・グリーンランド財団・窪川良一会長）によって建設される阿久根海洋センターの起工式が、十月三日市民体育館で行われ、中北B & G専務理事ほかB & G関係者、県・市・地元区長、工事関係者など、百五十人が出席。神事のもと、川畑市長らがクワ入れを行い、工事の安全を祈願しました。



起工式が行われた市民会館と取付道路も完成 工事が始まった現場

本市に建設される海洋センターは、体育館、プール、艇庫の三施設で、体育館、プールは、総合グラウンド東側に、艇庫は、五色浜に約四億円の事業費で建設されます。それぞれの規格は、体育館は床面積千二百平方尺、バレーコートが二面取れるほか、バスケット、バドミントン、卓球台などのスポーツ器具も備っています。プールは、二ト五尺、六コースのビルミ製。上層付きで雨の日や冬でも泳げます。隣りには、六

メートル、上層の幅の幼児用プールも併設されます。艇庫は二百平方尺の広さで、ヨット、カッター、ボートなどが配備されます。

体育館、プールについては、造成工事も終了、基礎工事が始まっており、体育館、プールは本年度中に、艇庫は、五十七年度の早い時期に完成することになっていきます。この日の式典では、窪川良一財団専務理事から、「海の町阿久根市を海洋センターの候補地に決定しました。」とのお礼を述べました。

中央線内田・桑原城間完成 二車線の全面舗装に



ハイウエー並みの立派な道路

多田の内田橋から桑原城・笹岡育所までの、市道中央線二千四百二十尺の改良舗装工事が終り、アスファルトの立派な道路に生まれ変わりました。この事業は、県が市に代って昭和五十年から工事に着手していたもので総事業費二億三千三百万円。

に、一・九尺巾の歩道が付いており、通行にも安全を講じてあります。この八月から未舗装区間の下桑・内田間一千八十九尺の舗装工事が進められていきました。このほど完成。これによって内田・桑原城間すべて全面舗装となり、鶴川内、内田地区の幹線道路として重要な役割をもつものと期待されます。

した。施設ができたなら、市民あけて利用していただきたい。」とのメッセージが送られ、川畑市長が「候補地に決定していただきありがとうございます。」と、青少年の健全育成、市民の健康づくりに、幼児からお年寄りまで活用させていただきます。とのお礼を述べました。

市民が待ち望んでいた海洋センターが、いよいよ着工することになり、市民の健康づくり、体力づくりが、増大し、明るく、活力ある豊かな町づくりが進められるものとして期待されています。



ご冥福をお祈りします

- 寺地 チエ 69 (尻無下) 勇
- 高古チヨカ 63 (佐海) 市助
- 吉田 助蔵 86 (上野) ユキノ
- 江崎 久吉 67 (大丸) キエ
- 高吉 春吉 58 (佐海) 貞子
- 福永庄一郎 77 (上桑原) キクエ
- 田上フヂノ 68 (上野) 隆志
- 濱崎 太次 71 (佐海) フヂノ
- 坂上 ウキ 83 (新町) 国光
- 丸田キクエ 70 (上野) 基吉
- 福水ケサノ 71 (葛野) 次男
- 赤瀬川寅吉 67 (東牧内) 勝彦
- 白肌 七蔵 79 (弓木野) 武志

県事業

大型人工礁設置始まる

◇回遊魚の滞留に期待◇



阿久根沖12㍍に設置された大型人工魚礁

沿岸漁業の振興にと、鹿児島県が今年から五年計画で阿久根沖に設置する、大型人工礁の投入が九月二十日から始まり、本格的な漁場づくりが進められます。

東シナ海に面し、県下でも有数の漁業のまちと知られる本市では、アジ・サバ・イワシ・タイなどの漁業が盛んで、近年水揚げ量も飛躍的に伸びています。

市でも、漁業振興を図るため港の整備、魚礁の投入など漁家の所得向上に努めています。

しかし、漁場となっている阿久根沖は、沖合五、六から十、十一にかけては、水深が五十から七十

メートルの深さで、海底は起伏の少ない平たんで、魚を長期間滞留させるための有効な天然礁も少なく、漁

計の深さで、海底は起伏の少ない平たんで、魚を長期間滞留させるための有効な天然礁も少なく、漁

海水浴場今年はにぎわう

二割増の20万人が訪れる

大川島 大川島 大川島

夏の海水浴シーズンが終り、その反省会が九月四日開かれ、市、観光協会、経営者などから三千人が出席、各海水浴場の報告と今後の観光について意見や要望が出されました。

まず、三つの海水浴場から今年

業関係者から「なんとか回遊魚がとどまる施策を」と要望が出されていきました。

県では要望に応え、阿久根市の沿岸漁業振興を図るため、阿久根沖に回遊魚の漁場づくりを計画、これまで鹿児島大学、県水産試験場にこの付近の調査を依頼、プラン作成を進めていきました。

計画では、阿久根から十、十一から十三、十四沖合に、南北三、九、平方メートルの範囲の海域に人工礁約千百個を投入して、回遊魚の滞留を図ろうとするもので、本年から六十年代までの五十年間に約六億円の事業費を投入します。

この日は、高さ十、七、七、四方に組み立てられたピラミッド型魚礁が投入されましたが、さらに引き続き計画は進められ、設置後はこの付近一帯は魚の豊庫となるこ

とが予想され、漁業関係者から期待されています。

調理師法が一部改正

このほど調理師法の一部改正され、多数人に対して飲食物（一回20食以上、一日50食以上）を調理して供与する施設、または営業者は、それぞれの施設ごとに調理師を置くように努めなければならないと法律が改正されました。詳しくは出水保健所におたずねください。



和牛・輸入牛・乳牛の標示を



標示されていない肉屋の牛肉売場

◆生活学校対話集会◆

「価格」の統一運動を進める

阿久根市生活学校（加藤ヒサコ委員長）の対話集会が九月二十一日市役所会議室で開かれ、商品の「価格」について突っこんだ話しが行われて、「同・商品によって価格がちがうので統一してほしい」などを関係機関に要望していくことになりました。

生活学校は、商品や公共のサービスなどについて悩みや疑問、不満を出し合い、対話によって社会的に解決しようとするもので、メ

ンバーは市内の主婦。

これまでもゴミの問題、税、洗剤などについて勉強しています。この日のテーマは「価格」について。最近品物によって重さや質

が同じなのに値段が違ふなどの苦情が出されてきました。同生活学校では、これらを調査するため八月一日から三十一日まで市内の百七十五人の主婦を対象に聞き取り調査を実施、その結果、たとえばなたね油一升である商店では五百

五十四円、別の店では六百円と五十円の差があることがわかり、タマゴや他の品物によっても、市内から五十円の差があった。そこで対話集会では商工会議所と食肉協同組合から二人の専門メンバーを招き、対話を開催、「価格」について話し合いました。

集会では特に牛肉の問題が出され、「悪質な肉は市内には出回っていないが、小売価格が店によってちがう、生産者は欠損しているのに肉の方はなぜ高いか。」など意見が出され、専門委員からは、「指導に力を入れたい。」と回答され、「和牛、輸入牛、乳牛と標示してほしい。」「価格の統一を」「中間利回りを少なくして小売価格を安く」を要望することになりました。

生活学校ではさらに他市町の実態を調査し、「価格」の問題をまとめていくことにしています。

敬老年金配布

市長・助役・収入役

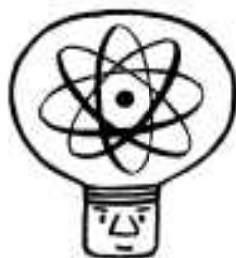
お元気で、元気で長生きしてください。九月十五日の敬老の日を前に、十日、十一日、十二日の三日間、川畑市長、新橋助役、川辺収入役は市内の八十五歳以上のお年寄りに敬老年金を配布し、長寿を祝いました。今年八十五歳以上の対象者が二百九十九人で、市長が九十歳以

上のお年寄りを、助役、収入役が八十五歳、八十九歳のお年寄の家庭を回り年金を配布しました。



年金を贈る新橋助役

10月26日は「原子力の日」



「原子力の日」は、昭和38年10月26日、日本原子力研究所東海研究所の動力試験炉により、わが国で初めて原子力発電に成功した日を記念して設けられました。

それ以来、今年で18年目。いまでは、わが国の電気の約12%を占めるまでに成長しました。資源の少ないわが国にとって、原子力発電は、石油代替エネルギーとして欠くことのできないものです。

ツツガ虫病を

予防しましょう。

ツツガ虫病患者は、これまでほとんど東日本地域に限られていましたが、近年全国各地に発生し、本県でも五十五年秋から今年の春にかけて八十四人の発生があります。ツツガ虫はダニの一種で体長〇・三mmから〇・五mmで刺れると食欲がなくなり、全身がだるく、目がたつにつれ熱が四十度の高温をだすこともあります。このような病状に気づいたら早めに医師の診療を受けてください。この予防には、山や草むらに入るときは体を露出しない。また、上衣などを草むらにいたり、横になって休憩しないことなどです。

ゴミ収集についてご協力を!!

みんなの心がけできれいな町に

ゴミ収集につきましては、部落別にゴミ置場を設け収集日を記入した立札を立てています。最近、部落によっては犬や猫が食い荒さないように燃えるもの、ガラス類、金物類に区別できるように区切ってかこいをするなどの工夫がなされています。しかし、ゴミの区別については、まだまだ徹底されてなく、期日前に出したりして、犬や猫に食い荒され、散らかっている所も見かけます。



ゴミ収集も大変な苦勞

さらに、ゴミの出し方について次のことを守るようにしてください。

- ▽ゴミは燃やすか埋めるなどの方法で、できるだけ各家庭で処理し出すゴミを少なくしましょう。
- ▽ゴミは燃えるもの、ガラス類、金物類に区別し、水切りをよくして出しましょう。
- ▽ゴミは決められた日の朝の九時までに出しましょう。祝祭日や年末年始の休日のときは、次の収集日に出しましょう。
- ▽農林漁業や商業などの事業活動によって生じる多量のゴミは自分で処理しましょう。



なつかしの写真

昭和22年当時の折多小学校北側校舎、戦争で焼けて急々に建てられ屋根も壁もカヤぶき。
(提供 中村学さん)

市街地南部さわやか規制 規制を守り、交通事故防止を

この十月から市街地の高松川より南側地区の大丸町、港町、波留の一部が全面駐車禁止となっています。また、各交差点のほとんどが一時的停止規制となっているほか、一方通行や右折禁止などの交通規制が実施されています。とくにダイワ横の道路は時間規制の歩行者用道路となり、一般車両の通行は禁止されます。標識をよくご覧いただき、正しい交通ルールで安全運転に心がけてください。

阿久根警察署からのお知らせ

「安全運転、事故防止」に免許証 折多小で自転車免許試験



真剣な表情で試験にのぞむ子どもたち

自転車の正しい乗り方と、マナーを身につけ、交通事故防止にも役立てよう——と市内の折多小学校(隈元義満校長)で、九月十一日自転車の免許試験が行われ、三年生以上の児童が、定められたコースを真剣に回り試験に取り組んでいました。

今年県の学校安全研究校に指定された同校は、国道三号線沿いにあり、交通事故の危険にいつもさらされており、学校では常に事故防止運動を校内、校外で進めています。

最近県内で増加している自転車による事故を未然に防ぎ、子供たちが安全に乗れるようにと、この免許試験を実施したもので、この日は三年生以上百十六人が受験。交通安全協会、PTA役員、警察官などの検定官が見守るなか、校庭に作られた横断歩道、一時停止、障害回避など一つのチェックポイントを一人づつ真剣に回っていました。

この日は九十四人が合格、長さ九生幅二メートルの木製の合格証をもらった子供たちは、「交通安全に気をつけ、安全な自転車乗りをしたい」と気を引き締めていました。

雨ガエルのヘルスです。父と母二つ年下の妹の四大家族。平凡なごく普通の家庭です。父は朝、ぼくたちの食べ物を捜しにまちに出かけ、母は家の掃除に大忙し、ぼくたち二人は学校へ出かけてます。

ある日のこと、まちに出かける父の後ろ姿を見ていた母が、「今日のお父さん元気がいいね。」と話しかけてきた。見ると重たそうな足どり、元気がない動き、帰ってきた父に母が「体に悪い所でも」父は、「いや、ちよっと疲れているだけさ、運動不足かな」と苦笑しました。

ぼくと妹が提案しました。「明日から、家族全員で早朝ジョギングをしよう。」父は乗り気のない様子でしたが、しかたなく賛成。



▲脇本馬場運動会
「美人になったかな？ワハハハ」



スポーツの秋、読書の秋、さわやかな秋風を受けて市内各地では幼児からお年寄りまで参加してのスポーツ大会が行われ、健康づくりに汗を流し、にぎわっています。

ここにいくつか、各地の運動会の様子を紹介します。

▲鶴川内校区球技大会

「初めてのホームラン気持ちいいね」

▲阿光保育園

「元気がいっぱい運動会の練習」



▲瀬之浦児童館運動会

「みんな一緒にゴールしようね」「うん」

秋さわやかに汗

▼田代小中運動会

裸で山坂遠征をめぐす元気な子どもたち



健康づくりは「楽しく」「自分のペースで」「無理せず」に。いま、私たちの日常生活は、機械の発達による合理化などで運動不足に陥りやすく、そしてそのことは、成人病にかかりやすい原因の一つだといわれています。

この運動不足を解消するための運動がやり方によっては健康をそこねたり、悲しい結果になることもあります。そこで私たちは自らの健康、体力について充分に把握し、それにもとづいてスポーツを楽しむことが必要です。

いざのときのために、スポーツ安全保険に加入し、安心してスポーツを。

翌日から、家族そろってジョギングが始まりました。
このジョギングのおかげで、父も今ではすっかり元気でピョンピョン。母もきれいに見える。ぼくは思った。「人間健康が第一。楽しい家庭は健康から」と。
スポーツの秋に入りました。体力づくりにスポーツを。



▲上野部落運動会

「大きなお尻で、イチ、ニイ、サン
ブーセン割り」



市の社会体育課では、健康増進、体力づくりにいつでも気軽に応じ、また実技などの指導をする体育指導委員を設けています。次の方々です。ご利用ください。

吉野清任(阿久根) 山崎力(鶴川内) 京田登(脇本) 永井野浩(尾崎) 西田庄右衛門(西目) 西園義教(阿久根) 奥平勝美(大川) 鳥飼光明(折田) 山口昭典(大川) 園田正雄(脇本) 末吉昇(山下) 竹原伸展(脇本)

体力・親睦づくりにぎわう



▶漁協運動会

「寛大なスプリンリレー、よく見ると
「フ」しか乗していない人もアレ」



▶山下校区運動会

「それジャンプでアロク上」
お母さん達もハッスル

▼大川校区運動会

「もっとジャンプしないと玉は入りませんよ」



苦勞もふきとばしにぎわう

身障者スポーツ大会

阿久根市身体障害者協会(中津浜実会長)のスポーツ大会は、九月二十六日市民体育館で開催。市内から百五十人が参加。赤(三笠)白(川北)紫(川南)の三チームにわかれて輪投げ、けつ庄測定、ゆっくり急げなど七種目に親睦を図りながら競いました。

総合で三笠地区が優勝。ゲームのあとは歌や踊りで懇親会を開き、日ごろの苦勞も忘れ楽しい一日をすごしていました。



▶苦勞も忘れて競技を楽しむ



帆島、阿久根間四十の横断に挑戦したのは「阿久根海洋クラブ（伊留加）柳隆博会長」の若者たち。現在会員は女性五人を含め二十二名。

帆島横断は、今年阿久根にB&G財団による海洋センターが設置されたのを祝して計画したもので、五日帆島に渡った一行は、六日早朝七時十五分、地元民に助まされウインドサーフィン七人、ヨット四隻七人で里港をスタート大川島を目指した。

この日はあいにく向い風で風速も上げ、波も二倍と高くうねりもかなりあり、外洋に出るとウインドサーフインは波を受けて転ぶくをくり返し、七時のうち六時が二時間経過した所で残念ながら棄権、会長の柳さんは「持ち前の根性で」がんばり、四時間半で川内沖に着いた。ここから再度全員がレースに加わり、スタートから八時間半の午後、時四十五分、家族や地元民らの拍手に迎えられて大川島にゴールインしました。一人ウインドサーフィンで成功した柳さんは「夢がかなえて嬉しい。将来は長崎野母崎までの横断を実現したい。」と喜びを話していました。

▶「めざすは阿久根」里港を一齐に出発



▲帆島～阿久根間の横断に挑戦した若者たち

トピックス



▲荒波に苦闘の連続
ウインドサーフィン

▶「佐瀬鼻が見えたぞ」風を受け快走るヨット



▶しぶきでびっしょり、ロープを引く手にも力が入る。



わたしたちの学校

三笠中学校

シリーズ9



校歌

一、あけぼの匂う黒の瀬戸
希望の潮湧くところ
若さを誇る肩あげて
正義と愛にこそぞり立つ
三笠中学力あり



学級数	10
児童数	361人
校長	中村時義

笠山を背景に、臨海海岸を目前する小高い丘にあるわたしたちの三笠中学校は、生徒三百六十一人、職員二十六人の明るく、素朴で伝統のある学校です。
生徒会では、年四回生徒会だよりを発行し、生徒一人ひとりが生徒会に対して理解と信頼を深めてもらい、生徒からの要望や意見な

学校のあゆみ

- 昭和22. 5. 5 三笠中学校創立(三笠青年学校一部借用)
- 昭和23. 8. 5 第二棟校舎6教室落成
- 昭和28. 7. 1 三笠中学校と校名変更
- 昭和28. 11. 18 理科室2・準備室・普通教室1落成(現技術室)
- 昭和30. 11. 26 校歌制定
- 昭和31. 4. 1 単人分校独立校となる
- 昭和32. 11. 13 創立10周年記念式典挙行
- 昭和38. 9. 2 給食室落成
- 昭和38. 12. 9 学校大火災(8教室全半焼)
- 昭和39. 10. 20 鉄筋二階校舎10教室落成 宿直室落成
- 昭和44. 10. 21 学校保健優良校表彰(過去3カ年優良校表彰)
- 昭和45. 11. 10 プール落成 プール開き(昭45. 4. 13着工)
- 昭和47. 10. 17 国体記念県区画作品展学校賞受賞
- 昭和48. 12. 16 県作文コンクール特選
- 昭和51. 9. 4 運動場整地作業
- 昭和52. 5. 7 開校30周年記念式典
- 昭和53. 7. 28 全日本弓道通信中学生大会 県準優勝
- 昭和54. 8. 17 学校施設総修理(旧体屋棟・旧体窓棟・床壁・体育館修理)
- 9. 1 鉄筋校舎サッシュ窓のパナトリかえ
- 水道タンク2ヶ所設置・美術室水道設置
- 音楽室、図書室の移転工事及び東側体育館までの渡り廊下工事
- 昭和55. 8. 7

史跡めぐりで歴史を勉強

これは、わたしたちのまちの歴史を知り、知識を深めようという目的で行われ、「自分たちの昔のまちのようすがわかった。」と、大変好評で、この十月には二回目の史跡めぐりが計画されています。
奉仕活動の一つに、臨海海水浴場の清掃があります。これは、夏の海水浴場開きの前に、美しい臨

海を聞き入れるなどして充実ある生徒会づくりをすすめています。
また、今年からできたゆとりの時間を使用して学校周辺に多くある古墳や遺跡めぐりをしました。

本海岸をきれいにし、楽しい気分
で海水浴をしてもらおうというも
で、生徒全員ビニール袋をもち、
ゴミを拾い集めました。
学校では、クラブ活動も盛んで
いまは二年生を中心に毎日汗まみ
れになってがんばっています。
これまでにサッカー、女子テニス、
剣道クラブなどは地区や県大会で
優秀な成績を残しており、数多く
の伝統をもつわたしたちの学校を
誇りとし勉強に、スポーツに励ん
でいます。

ゆとりの時間に 史跡めぐりで 歴史を勉強



立中学生会

出生児		保護者		部落名	
平敷	香澄	茂		(水田上)	
早瀬	円	紀年		(一段)	
半ノ濱	真澄	勇		(遠見ヶ岡)	
大曲	哲也	正人		(高松)	
野田	あき	徳二		(上野)	
田原	ゆみ子	初男		(米次)	
寺地	義寛	常義		(尻無下)	
青木	千秋	三郎		(丸内)	
中野	誠	清市		(山馬場)	
赤木	ゆかり	富義		(高之口)	
柏木	理	信男		(陣之尾)	
石田	聡子	茂夫		(大尾)	
赤崎	樹大	和彦		(高之口)	
平田	祐樹	光徳		(濁)	
新留	恵美	長雄		(水田上)	
児玉	佑一郎	信二		(大尾)	
尻無	公二	浅夫		(牧内)	
長濱	久美子	英明		(町)	
半橋	清佳	国利		(中村)	
石本	恵美	五月男		(深田)	
石原	充	透		(桐之上)	
八郷	竜司	六男		(八郷)	
中原	純一	睦夫		(簡田)	
京田	明久	悟		(瀬之上)	
濱崎	大作	光伸		(黒之浜)	
濱元	祐也	孝也		(下村)	
野村	佳史	昭		(黒之浜)	
川上	真理	悟		(瀬之下)	
野崎	竜海	幸		(鷹馬場)	
永野	謙	満		(上原)	

誕生
おめでとう

市民のひろば ひろば

二ユース・話題などお知らせください。
31211 内線214へ

「おじさんいつもありがとう」

母校へ学用品贈りつづけ13年



子どもたちに学用品を贈る中村さん

中村さん
子供たちと初対面
「学校への感謝のつもりで」と、昭和四十四年から十三年間も学校へ学用品を贈り続けてきた人が、九月十四日帰郷した折、学校から招かれ、子供たちから「おじさんありがとう。」とお礼が述べられ、これまでの善意に感謝の言葉が送られました。

この人は、昭和二十九年に尾崎小学校を卒業した中村喬さん(四〇)中村さんは四人兄弟の次男とし

て生れ、幼い頃父を戦争で亡くし、女手一つで育てられ、昭和三十三年市内の高校を卒業して大阪に就職しました。

いまでは、飲食店の経営者として頑張っています。

「自分がここまでこられたのも故郷や学校の人たちのおかげ」と中村さんは、母校の尾崎小学校へ匿名でノートや鉛筆、スケッチブックなどの学用品を贈り続け、最近贈り主も中村さんとわかり、学校ではお礼に子供たちの手紙や絵などを送り感謝していました。

子供たちを前に「都合に出ても人に負けない立派な人にな。よく校の子供たちにも目を細めていただきます。」と励まし、子供たちから「たいせつに使います。」とお

強い陸上、14年連続優勝

県青年大会

鹿児島県青年大会は、九月五日、六日の二日間鹿児島市で開かれ、本市からも陸上、剣道、バスケ、トボール、ソフトボールに六十四人の選手が参加し、熱戦をくりひろげました。

大会では、陸上が十四年連続優勝したのをはじめ、初出場のバスケットボールも優勝、また、意見発表の部で、陣之後宮ひろさん「羽出部落」が、「私の職業と将来の希望」と題して意見を発表、最優秀になりました。

踊りと歌で施設を慰問 視覚障害者協会

同じ障害者同志、手をとり合ってがんばろうと阿久根市視覚協会(小島身技会長)では9月9日市内の福祉施設「蓮の実園」と、「愛和園」を訪ね、歌や踊りを披露して人園者からさかんに拍手を受けました。



商工会議所

会員大会にぎわう

阿久根商工会議所会員大会は九月五日市民会館ホールに会員、家族ら七百人が参加して盛大に行われました。

大会では、折田会長が「内外の厳しい状況の中、地元会員も一致協力し、明るく、豊かな町づくりがんばろう」とあいさつ。小里貞利、余丸三郎代議士の時局報告のあと、北九州市立環境衛生研究所の園田真一博士が「長生きするための栄養学」と題して講演が行われ、引き続き歌謡ショーや、奇術などでにぎわいました。



「長生きできてよかったな」

九十歳以上を招待して敬老会

九月十五日は、お年寄りの長寿を祝い、市内各地では敬老会や運動会などが催されにぎわいましたが、敬老会を前に、九月十三日老人福祉センターでは、市内の九十歳以上のお年寄りを招いて、招待敬老会が行われました。

ことしの敬老会には、市内の九十歳以上のお年寄りから九十八歳の古富モトさんら二十四組が出席していただき、まず、市や県から肌布団などの記念品が一人ひとり贈られ、長寿を祝福。川畑市長が「健康に注意し、これからも楽しく元気で長生きしてください」とあいさつ。

このあと懇親会では、市長、助役らが、「ホスト」役になり、「百歳まで長生きしやんせな」と「来年もきてください」と二人ひとり酒をくみかわし、話はずんできました。



「来年もきてください」と長寿を祝う川畑市長

この日は、市内の踊りのボランティアの方や市職員らが「女の酒」「木更津甚目」などの踊りを披露、参加されたお年寄りに「よかじや」と、来年もきもんと目を通して踊りに見入っていました。



「早く元気になってね」

大丸老人クラブ会員を激励

大丸老人クラブ（仲村源七会長）では、会員で新町の国立阿久根病院に入院されている、大庵オトヅルさんを訪ね、「顔色が良くなつたね」「元気になってね」と見舞い、励ましました。

二年連続西日本一

市役所剣道チーム



二年連続優勝の市役所チーム

市役所剣道チームは、九月十二

日四国の香川県高松市で行われた第十七回西日本都市職員剣道大会で、他市の強豪を相手によく戦い、二年連続優勝しました。

この大会には、九州、四国、中国地方から二十四チームが参加、本市からもA・B二チーム十四人が出場しました。

両チームとも予選リーグを勝ち進み、決勝トーナメントでは、Aチームは鳥取市に勝ち準決勝に、Bチームも岩国市、久留米市をやり取り準決勝へ、阿久根同志の対戦となりAが勝ち決勝へ進み、大野城市と対戦五勝〇敗で勝ち優勝したもので、本市剣道のレベルの高さが示されました。

段チームが優勝

北薩地区

交通安全ゲートボール大会交通規則を身につけながら、ゲートボールを楽しむ交通安全ゲートボール北薩地区大会が、九月十七日高尾野町で開かれ、地区内から十一チームが参加、阿久根から参加した段チームが優勝し、鹿児島県大会に出場が決まりました。

華麗な演技に

うっとり

バレエ公演大盛況



県、市教育委員会主催のバレエ「くるみ割り人形」公演は、九月十九日市民会館ホールで行われ、小中高生、家族づれなど一千人がつめかけ、舞台での演技を熱心に觀賞していました。



お知らせ

第三回特別弔慰金の請求は昭和五十七年五月七日まで

◆ 戦没者の遺族でこれまで遺族年金、公務扶助料を受給されていた方が、昭和五十四年四月一日から昭和五十四年三月三十一日までの間に死亡され、いなくなった方に支給されます。

◆ 文官扶助料等を受給されている戦没者の遺族が昭和五十四年三月三十一日までに死亡などでないなくなった方に支給されます。

請求は五十七年五月七日までです。詳しくは市福祉事務所へお問い合わせください。

郵便受箱設置のお願い

阿久根郵便局

郵便局では、お預かりした郵便物を正確、安全にお届けするよう努力していますが、郵便受箱差入口のないご家庭もあります。とくに大型の郵便物は配達できず持ち帰ることもあります。

毎月第二水曜日は

交通事故相談日

市民相談室

郵政省標準規格品は大型の郵便物も入る郵便受箱（表札も兼用）ですので、お取り付けいただき、安全確実な配達ができるようご協力ください。

なお、規格品、受箱は、郵便局であっせんしています。

NHK学園社会通信講座 56年(秋)受講者を募集

NHK学園では、昭和五十六年度秋の「社会通信講座」の受講者を募集しています。

講座は「書道」「硬筆」「母と子の硬筆」「簿記」「俳句」「文章」「絵画」「囲碁」「国語」「英語」の10講座29コースで、自分の力量に適したコースを選ぶことができます。

文化祭

- ・と き 11月2・3日
- ・と ころ 市民会館・市体育館
- ・演 芸 2日 16時から
3日 10時から
- ・展 示 2・3日 市民会館
- ・参加団体 美南同好会 写
友会 書道会 錦風会
など15団体
演芸 竹葉会 紫苑会
仁志樹会 泉流 錦城
会など14団体

文化祭への出展(展示部門)を募っています。市教育委員会社会教育課へ。
※出水地区芸術祭も同日本市で開催されます。

これだけ必要です

市税関係の証明書
税務課で発行しています。

証明書の種類	持参するもの	手数料
○ 所得	印かん	一件につき百円
○ 納税	印かん	一件につき百円
○ 課税	印かん	一件につき百円
○ 所得 無職無収入	印かん	一件につき百円
扶養	印かん	一件につき百円
土地(車庫)	印かん	一件につき百円
土地(車庫)・宅地	印かん	一件につき百円
字 絵 写 写 写	印かん	一件につき百円
軽自動車に関する証明	印かん	一件につき百円
○ 固定資産税(軽自動車)	印かん	一件につき百円

○印は、個人の資産や所得など秘密事項を守るため、他の人が取る場合は「同意書」が必要です。同意書は税務課に備え付けてあります。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

- 海平三蔵(段)前田サチ(潮之)
- 下(大田重雄(尻無上)園田タツ子(上原)赤松福成(長野)佐木
- 産(仲仁田)湯水崎(湯)
- 幸地勇(尻無下)江崎ササ(大丸)
- 富吉貞子(佐湯)福水キクエ(上
- 桑原)富吉市助(佐湯)

心配」と相談は5の日

心配ごと相談は毎月五日・十五日・二十五日です。気軽にご利用ください。

休日の場合は翌日になります。社会福祉協議会

ありがとうございます

老眼境を寄贈し市民課窓口にて市民課窓口で、メガネをお忘れの方にご利用下さいと、「めがねの明視堂」の藤崎昭造さんが、メガネの三点セット(40代・50代・60代)を寄贈され、市民の方に大変喜ばれています。

わが子への

愛を世界のどの子にも

薬は正しく使いましょう
十月一日から三十一日までの一カ月間、薬物乱用事犯取締強化月間になっています。
薬は疾病の治療になくしてはならないものですが、使用法を誤ると副作用がおこるなど体をこわすものになります。
麻薬・覚せい剤類を
過放ししよう。